

今後のスケジュール(予定)

★5月 ダブルケア実態調査スタート

ダブルケアラーの皆さんが実際にどんなことを日々思っているのかアンケート調査を行います。

★5月 クラウドファンディングによる資金調達・仲間集めスタート

サポーター養成、居場所づくりのために、資金集め、仲間集めを行います。

★6月 ダブルケア実態調査の結果分析

★7月-9月 ダブルケアラーサポーター育成のための講座づくり

養成したダブルケアサポーターを横浜の各拠点に派遣、ダブルケアラーのための居場所づくりをします。

★10月-12月ダブルケアサポーター育成講座

★1月-3月ダブルケアラーのための居場所を港南区の複数箇所に開設

5月1日から実態調査&資金集め仲間集めがスタート!

インターネットからの参加が可能です。
詳しくはこの資料の内側をご覧ください。

ご意見・お問い合わせはこちらまで

ダブルケアラーのためのケア実行委員会

〒233-0015 横浜市港南区日限山1-32-4 さわやか港南

Mail: seritetocm@gmail.com Tel: 080-9877-7266

WEB: <http://bit.ly/doublecare>

様々なセクター、想いのあるスタッフにより、進められています。

●主催：横浜国立大学相馬直子研究室

●協力：英国・ブリストル大学山下順子、芹が谷コミュニティととと、さわやか港南、
NPO 法人シャーロックホームズ、NPO 法人横浜コミュニティデザイン・ラボ

●後援：横浜市政策局

ダブルケア実態調査&ダブルケアラー のための居場所づくりへの ご協力をお願いします!



ダブルケアという言葉を知っていますか?

子育て中で精一杯の毎日。自分やパートナーの親のケアも子どもとして放っておけない問題の一つです。晩婚化により出産年齢が高齢化すると共に、長寿命化によって親の介護期間も長引く傾向があります。その結果、子育てと介護を同時進行で担っている世帯—ダブルケア負担の世帯—が増えています。さらに兄弟数の減少や親族のネットワークが脆弱化する中でダブルケアの負担は親との近居または同居している娘に集中する傾向にあり、相談相手もなく、心身ともに疲れ果ててしまうケースも見られます。

これまでの日本では仕事と子育て、あるいは仕事と介護の両立が問題とされてきましたが、少子化と高齢化が同時に進行する現在、子育て・介護・仕事の両立という新たなケアの形が大きな社会問題になりつつあります。今後は従来の子育て支援策、高齢者介護政策も見直しを迫られる事態になると考えられます。現状は残念ながら行政、民間サービスも縦割りになっており、ダブルケアラー(ダブルケア当事者)への支援はまだ充分ではありません。

ダブルケアラーが暮らしやすい地域づくりを 横浜から目指します。

2015年7月から、ダブルケアラー当事者のみなさんが悩みを相談したり、改善策を話し合える「ダブルケアの先輩」サポーターチームの立ち上げ、ダブルケアラーのみなさんがふと立ち寄ることができる居場所づくりを横浜市港南区から始めるために、現在話し合いを進めています。

具体的には、横浜国立大学相馬直子・英国ブリストル大学山下順子を中心に、ダブルケアの実態調査を5月からスタート、同時に港南区で活動をしてきた植木美子をリーダーにして、サポーターの育成、居場所づくりのための企画づくり、資金調達、仲間集めを開始します。

相馬 直子

横浜国立大学准教授

横浜において、ダブルケアという新たな社会的
リスクの構造とその対応策を研究している。



植木 美子

芹が谷コミュニティ

『てとと』代表

横浜の芹が谷でみんなの居場所づくりを中心に活動中。
親子のひろばやランチカフェなどを定期開催している。



お願いしたいこと その1

ダブルケア実態調査にご協力をお願いします！

5月1日-5月31日

まさに子育てと介護のダブルケアに直面されている方、ダブルケアを経験された方、まだ直面していないけれど、他人事ではない方、様々な方の気持ち、生の声を反映した、サポーター育成、居場所作りを行っていきたいとおもいます。みなさんの普段感じている想いや考えを教えてください。

ご協力の手順

STEP. 1

以下 URL にアクセス！

<http://bit.ly/doublecare>

STEP. 2

ページ内に表示されているアンケートに回答をお願いいたします。

アンケート結果は7月以降、上記ページにて皆さんにお伝えする予定です。

また、ダブルケアラーのためのサポーターチーム立ち上げ、居場所づくりの際にも皆さんのご回答を反映することを予定しています。

※クラウドファンディングとは…インターネットを通じて多数の支援者から資金を集めるしくみです。

※LOCAL GOOD YOKOHAMA とは…横浜市の行政・企業・大学の協力のもと NPO 法人横浜コミュニティデザイン・ラボが運営する横浜の課題と市民を IT でつなぐ WEB サイト。

※くわしくは「ローカルグッドヨコハマのつかいかた」をご覧ください。 → → → → → WEB サイト URL : http://yokohama.localgood.jp/user_guide/

お願いしたいこと その2

サポーター育成、居場所づくりの

前半 40日 5月1日-6月9日

後半 40日 6月10日-7月19日

資金・仲間集めにご協力をお願いします！

ダブルケアラーへ寄り添うサポーターの養成、そして、ダブルケアラー達が集える居場所づくりのための資金や企画と一緒に進めていただける仲間を募集しています。

ご協力の手順

STEP. 1

以下 URL にアクセス

<http://bit.ly/doublecare>

STEP. 2

ページ内からクラウドファンディングのページに進んでください。

ユーザー登録後、ページ内から資金提供、仲間になる申し出が可能です。

STEP. 3

支援いただいた皆様には金額に応じて、お礼をご用意します。

STEP. 4

その他、ダブルケアについて語るイベントなども多数開催していきます。

こちらも上記 URL からご確認ください。

5月1日開催 ダブルケア実態調査&ダブルケアラーに寄り添うサポーターをつくろうプロジェクトキックオフイベント

5月1日より、ダブルケアの実態をより詳しく理解することを目的としたダブルケアラーのみなさんへの実態調査、そして、ダブルケアラーのみなさんがふと立ち寄ることができる居場所をつくるためのプロジェクトが横浜港南区から立ち上がります。

横浜国立大学相馬直子・英国ブリストル大学山下順子を中心に、ダブルケアの実態調査を、同時に港南区で活動してきた植木美子をリーダーにして、サポーターの育成、居場所づくりのための企画づくり、資金調達、仲間集めを開始します。

スタートの日となる5月1日に、プロジェクトのキックオフイベントを開催します。当日は、実行委員会より、ダブルケアとは何か、感じている課題や解決したいこと、現在企画しているプロジェクトの内容についてお伝えします。ダブルケアに関心がある皆さんのご参加、お待ちしております。

日時：5月1日（金）19:00-20:30（18:30開場）

場所：ウィリング横浜

タイムスケジュール：

19:00-19:15 はじまりのご挨拶

19:15-19:30 ダブルケアとは？港南区を対象に行うダブルケア実態調査について（相馬さん）

19:30-19:50 感じている課題や解決したいこと 港南区でのダブルケアラーのための居場所づくりプロジェクトについて（植木さん川辺さん）

19:50-20:00 今後の展望、民間から政策につなげるために（関口さん）

20:00-20:20 お集りの皆さんから感想、アイデアをいただくフィードバックの時間

20:20-20:30 締めのご挨拶

【お申し込み】

- ・フェイスブックの参加するボタンを押してください。
- ・もしくは、メール localgood@yokohamalab.jp 宛にタイトル「5月1日ダブルケアキックオフイベント参加希望」と記載して申込ください。

【主催・共催】

主催：ローカルグッドヨコハマ（NPO 法人横浜コミュニティデザイン・ラボ）

共催：さわやか港南 <http://sawayakakounan.web.fc2.com/>

芹が谷コミュニティととと <http://tetoteto.org/>

横浜国立大学経済学部アジア経済社会研究センター <http://www.econ.ynu.ac.jp/cessa/overview/>

【お問い合わせ】

NPO 法人横浜コミュニティデザイン・ラボ localgood@yokohamalab.jp 045-664-9009